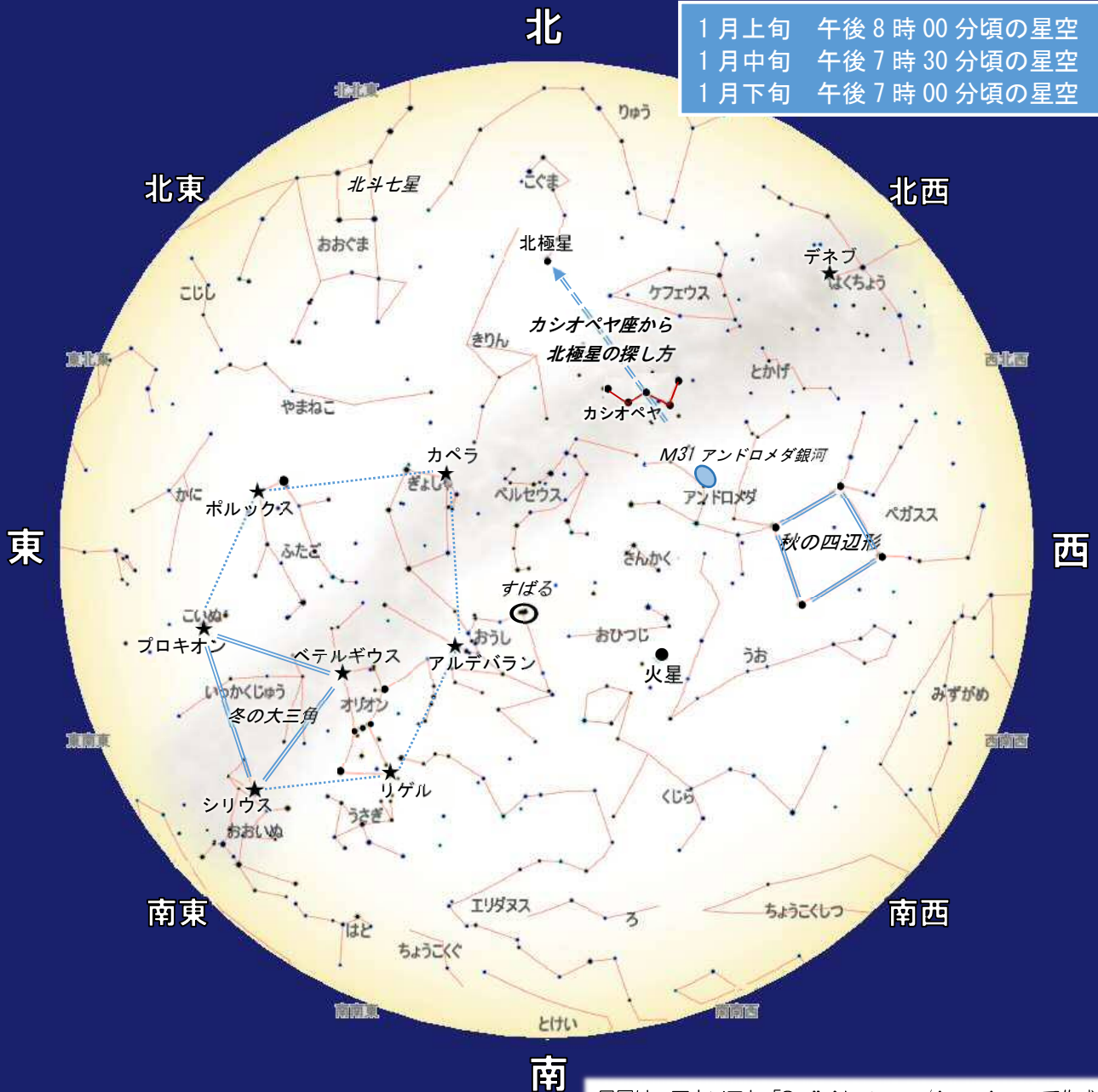


2021年 1月の星空案内



1月上旬	午後8時00分頃の星空
1月中旬	午後7時30分頃の星空
1月下旬	午後7時00分頃の星空



星図は、天文ソフト「StellaNavigator/AstroArts」で作成。

【1月の星空】

東の空から冬の星座たちが次々と上がってきます。全天で21ある1等星のうち、7個が冬の星座に集中しています。特にベテルギウスとリゲル、2つの1等星をもつ「オリオン座」が有名です。真ん中の三つ星を目印に探してみてください。「ベテルギウス」、おおいぬ座の「シリウス」、こいぬ座の「プロキオン」、3つの1等星を結んだ三角形を『冬の三大角』といいます。また点線(.....)で表した六角形を『冬のダイヤモンド』と呼びます。

【すばると火星】

天頂付近に、5~6個の星がぼつぼつ集まっている様子を見ることができます。散開星団M45「プレアデス星団(すばる)」です。双眼鏡では、数十個以上の星の集まりが見られます。

昨年10月に地球に最接近した「火星」が、まだ明るく輝いています。日没後の早い時間(午後7時ごろ)に空高く見えるので、お子さんにも見やすくなります。西洋の神話で「戦の神」と称されたオレンジ色の輝きがひとときわ目を引きまします。